

## 編集後記

新潟県中越沖地震は、2004年新潟県中越地震の対応経験を経て、新潟県が直面した地震災害であった。中越地域については、3年後に再び被災を経験し、つらい経験となった。その反面、3年前の経験をふまえて、課題解決のためのよい機会となったことも事実である。新潟県内においては、これらの経験を蓄積・共有し、また県外へと発信することで、全国から寄せられた支援に応えようとする思いを、多くの県民が持っている。

本検証の実施にあたっては、知事をはじめ、県・市町村、県消防防災航空隊、民間企業、福祉関係機関等の47名の関係者から、インタビューの機会を得た。それらの人々からは、当時の大変だった様子、苦労をしながら対応を進めた点、問題や課題などについて、広く話を聞くことができた。貴重な時間を割いていただき、経験を共有いただいたことに感謝を申し上げたい。

また、本検証は、新潟県防災局防災企画課の全面的な協力を得て実施された。関係課・関係機関との調整、インタビューの実施、資料の提供など、多大な貢献をいただいた。

実際の作業については、新潟大学 災害復興科学センターの危機管理室が中心となって実施した。危機管理室の井ノ口宗成 特任助教、技術補佐員の小島恵澄さん、大桃恵利さんには多大な貢献をいただいた。

なお、本検証は、(財)新潟県中越大震災復興基金の助成を得て実施された。

多くの関係機関、関係者の貢献に感謝し、編集後記とする。

新潟大学 災害復興科学センター 危機管理分野長  
田村 圭子